

毎週日曜発行
2017 9/24

こども新聞 週刊がほピョンプレス

河北新報社 TEL.022-211-1111(月曜から金曜)



みなさん、こんにちは。私は地震体験車「ぐらら」です。私のことは知っていますか？ なまずのイラストが描かれていて、ぐららぐらと地震の揺れを起すことができます。みなさんに大きな揺れを体験してもらい、地震の怖さや備えの大切さを伝えるために、仙台市内のさまざまな場所に出動しています。

2002年3月に完成

及川アドバイザーの



ぼうさい 学ぼう防災

⑥

揺れを体験 備えの参考に

こんにちは「ぐらら」です

しました。車体のイラストは小学1年生の女の子の絵が採用され、「ぐらら」という名前は小学2年生の男の子が考えてくれました(学年はいずれも募集当時)。

私は東日本大震災をはじめ、宮城県沖地震や阪神淡路大震災など、9種類



仙台市の地震体験車「ぐらら」。イベント会場などで見かけたら、地震の揺れを体験してくださいね。

「ぐらら」今後の出動予定

- ▷第50回記念ガス展(青葉区・仙台国際センター展示棟西側)10月13日(金)午前10時~午後4時。14日(土)と15日(日)は午後2~4時。
 - ▷長町ふれあい防災の広場(太白区・JR長町駅西口広場)11月19日(日)午前10時~午後2時。
 - ▷防災推進国民大会2017(青葉区・地下鉄東西線国際センター駅北側駐車場)11月26日(日)午前10時~午後4時。
- ※いずれも雨天時は乗れません。

「ぐらら」インタビュー

—苦手なものはありますか。
「実は雨が苦手で、地震の揺れを再現できなくなってしまうんです」
—燃料は何ですか。
「環境にやさしい天然ガスです」
—さびしい時期があったと聞きましたが。
「東日本大震災のあと、地震を思い出すなどの理由であまり呼んでもらえず、乗る人が減ってしまいました、さびしい日が続きました」

—でも今は、いろいろな地域から呼んでもらって元気に活動しています」
—一度に何人乗れますか。
「最大4人で、ダイニングセットのいすに座って体験します」

情報提供 仙台市
地震防災アドバイザー
I・及川由佳里

|| 最終週に掲載

今週の注目ニュース

◇24日(日)「漱石山房記念館」オープン(東京・新宿区早稲田南町)
作家夏目漱石が一生を終えるまでの9年間をすごした住まいのあとに、新宿区が書斎や客間などを再現したんだ。

◇30日(土) 第57回全日本模型ホビーショー一般公開(～10月1日、東京・東京ビッグサイト)
プラモデル、フィギュア、鉄道模型、ガンなどの新製品がずらり。プラモデル組み立て体験など、イベントももりだくさんだ。

きょうの紙面

2 ニコ☆プチ

3 3分チャレンジ

4・5 いいね

小学校

6 英語

7

かほくワークシート

8

中学生の相聞歌